

シンポジウム 2

地域歯科保健事業における口腔検査の有用性 ～行政の立場から～

鈴木 英明

千葉県健康福祉部健康づくり支援課 食と歯・口腔健康班 副主幹

<略歴>

- 1990年 日本大学松戸歯学部 卒業
- 1994年 日本大学大学院松戸歯学研究科 修了
- 1994年 日本大学松戸歯学部 保存修復学講座 助手
- 1996年 日本大学松戸歯学部 保存修復学講座 専任講師
- 2003年 米国アラバマ州立大学バーミングハム校（免疫ワクチンセンター）（～2005年8月）
- 2015年 日本大学松戸歯学部 兼任講師
- 2017年 千葉県健康福祉部健康づくり支援課 口腔保健支援センター



神津 郁実

千葉市保健福祉局健康福祉部健康推進課 企画調整班 歯科衛生士

<略歴>

- 2019年 千葉県立保健医療大学健康科学部歯科衛生学科 卒業
- 2019年 千葉市役所入庁
保健福祉局健康福祉部健康推進課



渡辺 亜紀

流山市役所健康福祉部高齢者支援課 高齢者介護予防係 主任歯科衛生士

<略歴>

- 2006年 日本大学松戸歯学部附属歯科衛生専門学校 卒業
歯科衛生士資格取得
茨城県つくば市歯科医院勤務
- 2008年 東京都港区歯科医院勤務
- 2014年 流山市役所 入庁
健康福祉部 健康増進課
- 2022年 健康福祉部 高齢者支援課



抄録

歯・口腔の健康は、県民が健康で質の高い生活を営む上で重要な役割を果たしており、生涯を通じて歯・口腔の健康の増進を図ることが必要となります。そこで、県では歯・口腔の健康の保持のために、歯科疾患の予防に向けた取組を実施しているところです。

地域歯科保健事業において口腔検査は、非常に有用です。口腔検査は、口腔内の健康状態を評価し、早期に異常を発見するための重要な手段となるため、口腔検査によって、むし歯や歯周病などの口腔疾患の早期発見が可能となります。また、早期発見により治療が容易になるだけでなく、予防策を講じることもできるため、歯・口腔の健康の維持や予防に貢献します。

千葉県では、本年4月に「第3次千葉県歯・口腔保健計画」を策定し、かかりつけ歯科医を持ち、歯周疾患検診をはじめとした定期的な歯科健診の受診を啓発しているところです。本日は、令和8年度から新たに実施される歯科健康診査票及び歯周病検診マニュアルについての説明及び県で取りまとめている市町村歯科健康診査についてお話しするとともに県内の2市（千葉市と流山市）で現在実施している取組について紹介いたします。

<千葉市>

近年、口腔機能の低下が疾患として位置づけられ、フレイルにつながるとしてオーラルフレイルという概念が普及するなど、いつまでも心身ともに元気であるために口腔機能低下の予防が重要視されています。行政の取組みとして、千葉市では、口腔機能低下の早期発見や市民が自身の口腔に関心をもつきっかけづくりのため、健康教育・歯科保健指導等の場において、簡易的な口腔機能検査を実施しているところです。今回は、千葉市の口腔機能検査を用いた歯科保健事業の取組み状況について紹介いたします。

<流山市>

流山市では、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業において、平均自立期間を延伸し、住み慣れた地域で自立した生活の継続ができることを目的とし、保健師・管理栄養士・歯科衛生士・作業療法士が連携しフレイル予防に取り組んでいます。オーラルフレイル予防におけるポピュレーションアプローチおよびハイリスクアプローチの取り組みを紹介するとともに、地域での取り組みから見えた結果や口腔機能検査の有用性及び評価方法について紹介いたします。